

◆茶屋集会所【平成30年4月21日(土) 参加者数25人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
1	市に貯金はあるのか。	市の貯金として基金がありますが、各基金にはそれぞれ用途が決まっています。今後10年間で様々な事業を行った後に、約40億円の基金が残ると見積もっています。
2	芦屋病院に約3億4千万円の補正予算が組まれたと聞いたが、どのようなお金か。また、様々な取組を行っているようだが、その事業費を市債の償還に回してはどうか。	芦屋病院に係る3億4千万円の補正予算は事業運営費への貸付金です。本市では、長期財政見込みを立てた上で、事業を実施しつつも市債を償還できるよう取り組んでいます。
3	さくら参道や宮塚公園南側の桜の木をなぜ切ったのか。また、呉川公園の藤棚が咲かないままだが、なぜ放置しているのか。茶屋公園や他の公園にもトイレや時計がない場所があるが、整備してほしい。	さくら参道の桜の木は古く、倒木直前だったからです。宮塚公園については改修にあたり地域の皆さまのご意見をお聞きし、現在の形になりました。茶屋公園は近隣の公園との距離的な問題もあるので難しいですが、他の公園も計画的に改修しています。
4	JR芦屋駅南地区整備事業について、市民の意見をもっと聞いてほしい。小さな町にこのように大きなロータリーは必要ないのではないか。	住民の皆さまのご意見をお聞きしながら進めてきています。ペDESTリアンデッキは再開発事業の本体ではなく、あくまでイメージ図としてご提供しているものです。地域の方のご意見は承知しており、今後も協議可能です。
5	人口減少対策として市民憲章を意識した芦屋らしい政策を進めてほしい。	分かりました。
6	集会所トークの配布資料に施策ごとの予算額を入れてほしい。	分かりました。 →次回の「集会所トーク資料」作成時には表記の方法等について検討します。
7	茶屋桜通りの桜の維持・保全について、どのように位置づけているか。	現状で補修の必要はないと認識していますが、総点検します。 →今年度に簡易診断を行う予定です。

◆茶屋集会所【平成30年4月21日(土) 参加者数25人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
8	自治会の会合などに市の職員が入り、地域の課題を肌で感じることで、より住民目線での政策立案ができるのではないかと。	開催される時にはご案内ください。
9	地域にとって、市の職員の中で一番接点があるのは課長クラスである。部長級に加え、課長クラスの人事異動についても広報等で知らせてほしい。	広報への掲載を検討します。 →広報については紙面に限りがあり、課長級の異動の掲載までは難しいですが、ホームページ等での掲載については検討します。
10	エリアブランディングに精道町が含まれていないのは阪神電気鉄道のガードで分断されているからであり、まちの景観づくりということも踏まえて考えてもらいたい。	精道町エリアは、エリアブランディングの意味するところと異なるため、含まれていません。
11	ごみの放置が深刻化しており、まちの景観を損ねるので、サマーカーニバルは必要ないのではないかと。	サマーカーニバルは、市内外で多くの方が楽しみにされています。芦屋市にとっての一大イベントなので、ごみが出たら地域の皆さまで集めようという気概で、市、地域、自治会を挙げて取り組んでいきたいと思っています。
12	霊園の抽選に長年落選している。対策を考えてほしい。	必ずルールを作って対応します。 →霊園使用者選考委員会で検討し、ルールを作って対応します。
13	国道2号線と中央線にあるイチョウについて、葉がまだ青い時期に剪定されており、無残な感じがする。	所管に確認し、剪定時期も考えます。 →周辺住民の方と協議の上、剪定時期を決定しています。
14	足に糸がついた鳩をボランティアで保護しているが、ラポルテで活動している際にラポルテの管理者に止められ、事情を説明しても理解してもらえなかった。	ラポルテの管理人に伝えておきます。

◆茶屋集会所【平成30年4月21日(土) 参加者数25人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→赤字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
15	JR芦屋駅南地区整備事業における芦屋らしさとは何か。住民が納得していないまま、立ち退きをさせてでも事業を進めるのか。長期財政収支見込についても当初の100億から190億になったことをどのように捉えているのか。	事業を進める上で芦屋らしさを出していくべきだと考えています。また、立ち退きをさせてまで事業を早く進めるようには申ししていませんが、なるべく早くご理解をいただくための努力はこれからも惜しみません。
16	旧宮塚町住宅が「女性が輝くまち 芦屋」の拠点になるということだが、地域住民が自由に使える部屋を設けてほしい。また、旧宮塚町住宅前のスペースはどのように利用されるのか。	今後、ワークショップや設計を行う上で、そのような議論も出てくると思います。地域のコミュニティゾーンという考え方も機軸の一つにして、ワークショップを展開する予定です。前のスペースは旧宮塚町住宅が最も効果的に使えるように、当面は空き地のままで置いておきますが、最終的な活用方法は地域の皆さまのご意見を伺いながら決めていきたいと思っています。
17	「市立幼稚園・保育所のあり方」について、朝日ヶ丘幼稚園の保護者全員が廃園をやめてほしいと言っているのに、7月に民間移管のための公募をする。事業にかかる予算額も膨大である。もう少し住民の意見を聞いてほしい。	公立幼稚園に通う子どもが少なくなっており、保育所に待機児童が発生している状況を受け、就学前の全ての子どもたちの最善の利益のために、公立・私立の幼稚園、保育所、認定こども園を保護者の皆さまに選択いただくという整備です。目先のことだけではなく、数十年先のことも考えています。
18	JR芦屋駅南地区の再開発について、デッキや駐車場も事業計画に入れるべきではないのか。日本では第一種の再開発が多い中、なぜ強制力のある第二種なのか。人の流れやバス停の位置、費用の問題もある。住民側が意見書を出したが、全て却下されたことについてどう考えているのか。また、事業案について模型を作り展示してほしい。	事業を強引に進めようという考えはなく、協議をしつつ進めたいと考えていますのでご理解ください。事業計画案については縦覧も行っており、現時点では模型の作成までは考えていません。